



創業メンターに関するアンケート調査結果

1 調査概要

- ①実施機関 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター（以下、「センター」という）
- ②調査実施期間 令和5年6月13日（火）～6月20日（火）
- ③調査対象者数 センターの創業関連の支援事業者 151者
- ④調査方法 WEBアンケート調査（電子メール送信による調査依頼・WEB上での回答）
- ⑤回答率 21.2%（回答者数32者）

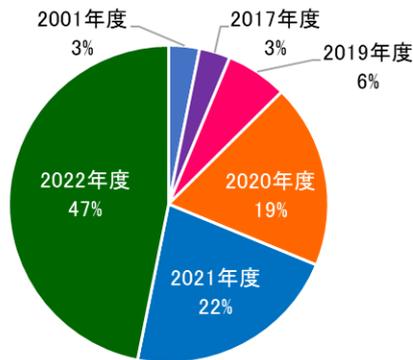
2 創業メンターの定義

創業の方法や経営全般などに関して多角的なアドバイスを行ってくれる「先輩経営者」を「創業メンター」と定義し、調査を実施した。

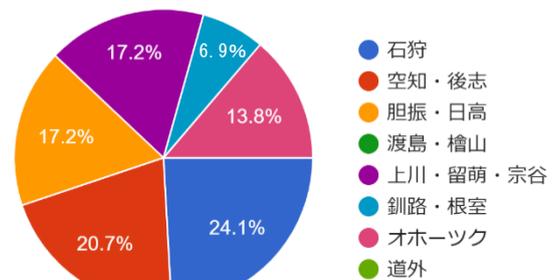
3 調査結果

【回答者の概要】

Q1-1 回答者の創業年度（回答数32）

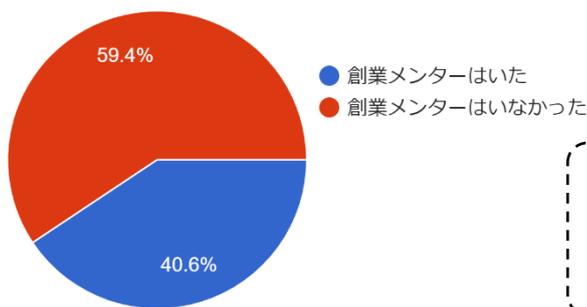


Q1-2 回答者企業の所在地（回答数29）



【創業時の創業メンターの有無】

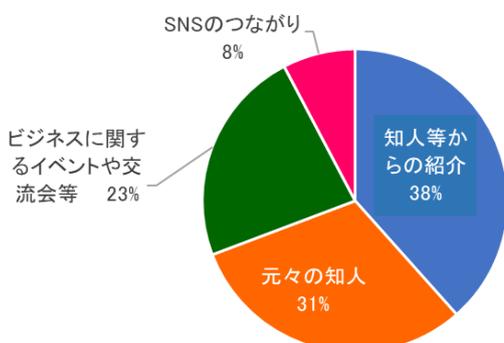
Q1-3 創業時の創業メンターの有無（回答数32）



創業時に、創業メンターが「いた」は約4割、「いなかった」は約6割となっている

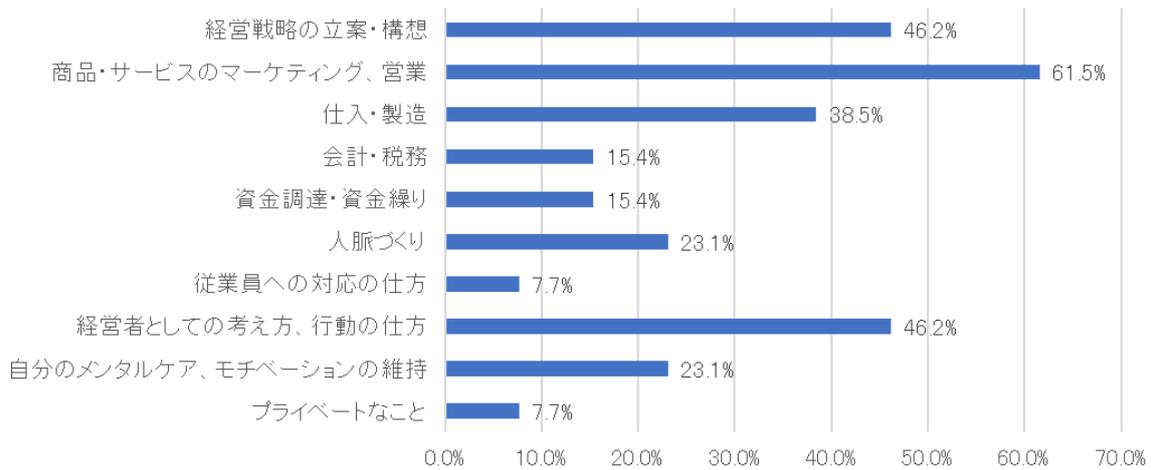
【創業メンターがいた回答者に対する設問】

Q2-1 創業メンターとは、どのように出会いましたか？（回答数13）



創業メンターとの出会いは、「知人等からの紹介」、「元々の知人」を合わせて約7割となっている

Q2-2 創業メンターに、どのようなことを相談しましたか？（回答数 13、複数回答）

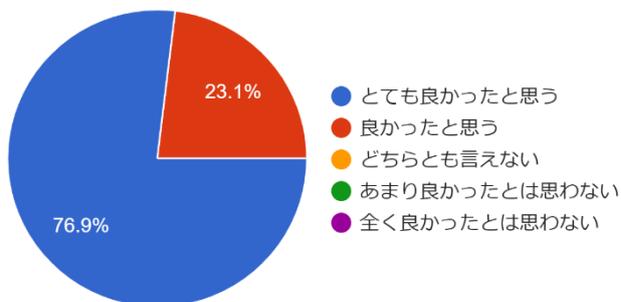


「商品・サービスのマーケティング・営業」は約6割、「経営戦略の立案・構想」、「経営者としての考え方、行動の仕方」は約5割の回答となっている

Q2-3 創業メンターから受けたアドバイスの中で、役に立ったこと（回答数 7、自由回答）

- ・ブレない想い、経営戦略
- ・メーカー等の紹介
- ・存在そのものが大きかったです。
- ・まず何をすべきかの質問に、場所作りをすることという回答（製造業）
- ・築いてきた人脈を活かすこと、売上をあげなければ意味がない事、最初は自分でやるのは当然だが他の方が出来ることは任せて自分にしかできないことをやる事、など
- ・想定される顧客の意識
- ・心構えができた。人脈が広がった。

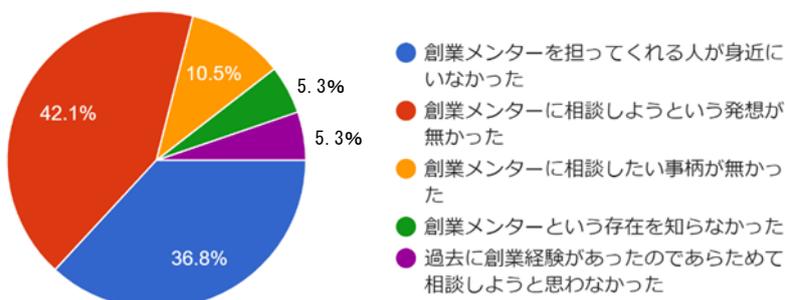
Q2-4 創業メンターがいて良かったと思いますか？（回答数 13）



回答者全員が、「とても良かった」又は「良かった」のどちらかを回答している

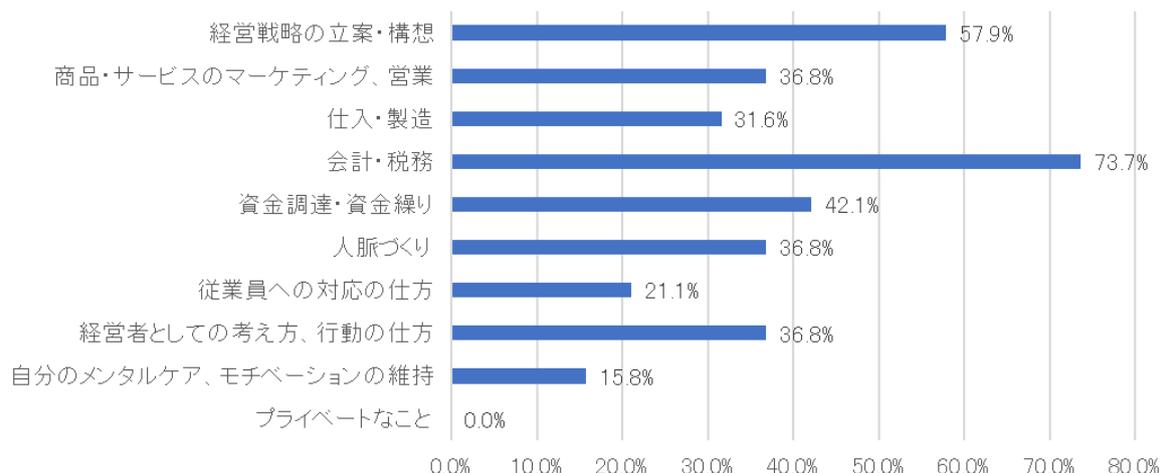
【創業メンターがいなかった回答者に対する設問】

Q3-1 創業メンターがいなかった理由は何ですか？（回答数 19）



「創業メンターに相談しようとする発想がなかった」、「創業メンターを担ってくれる人が身近にいなかった」は、それぞれに約4割の回答となっている

Q3-2 創業時に、創業メンターに相談できたなら、どのようなことを相談したかったと思いますか？
（回答数 19、複数回答）



「会計・税務」は約7割、「経営戦略の立案・構想」は約6割、「資金調達・資金繰り」は約4割の回答となっている。

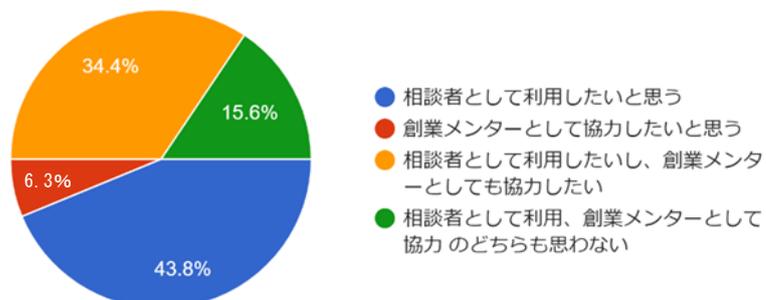
「創業メンターがいた」回答者の回答結果と比較すると、「会計・税務」、「資金調達・資金繰り」の割合が高く、「商品・サービスのマーケティング・営業」の割合は低くなっている。

Q3-3 創業時に、相談できる人がいなくて困ったこと（回答数 5、自由回答）

- ・ 創業時のいろいろな届け出について（税務所や年金事務所などへの）
- ・ 社保や税務の関係、定款作成のこと、土業の知人がいないこと、会社づくりの流れ（何から始めるのか）
- ・ 毎日が試行錯誤でした
- ・ 創業に係る法務局への登記や社会保険事務所、税務署等への具体的な手続き
- ・ モノづくりに関する補助金、事業計画書、販路など相談に乗ってもらえると心強い

【「(仮)創業メンター相談制度」についての設問】（全員回答）

Q4-1 「(仮)創業メンター相談制度」を創設した場合、あなたは、相談者として利用したい、又は、創業メンターとして協力したいと思いますか？（回答数 32）



「相談者として利用」約4割、「相談者として利用、創業メンターとしての協力の両方」約3割、「創業メンターとしての協力」約1割の回答となり、制度創設に対して肯定的な回答が多い

※回答を「相談者としての利用」と「創業メンターとしての協力」の2つに分けて整理すると、「相談者としての利用」78%、「創業メンターとしての協力」41%（複数回答）となる